

絵本作家  
五味太郎

# 希望は社会ではなく 個人の意識の中にある

Tarou Gomi  
五味太郎

ごみ・たろう●1945年、東京都生まれ。絵本作家。桑沢デザイン研究所ID科卒業。絵本を中心とした創作活動を続け、400冊を超える作品を発表。海外でも五十数種類の本が翻訳され、十数カ国で出版されている。『かくしたのだあれ』『たべたのだあれ』でサンケイ児童出版文化賞、『仔牛の春』でポーロニャ国際絵本原画展賞、エッセイ『とどきの少年』で路傍の石文学賞など受賞。毎月トークライブも開催。詳しくは「五味太郎アニメックス事務局」まで。  
<http://www.gomitaro-annexshop.com/>  
[event@gomitaro-annex.com](mailto:event@gomitaro-annex.com)

俺は今年で67歳になるけど別に今の時代が特別暗いとか不安だとは思わないね。逆にこれまですごいいい時代なんてあったか聞きたい。いつのどんな時代でも自分の好きなことや得意なことで生きていくのが幸せだよ。それは若いときにわかんなくても全然問題ない。俺自身も高校の頃に夢や目標なんてまったくなかったし、絵本作家として本気になったのは40代だし。動きながら考えればいいと思うよ。やりたいことがあればとりあえずやってみるとかさ。そうすると何か見えてくるものがあるよ。

将来のことなんて誰にもわからないよ。確かに今の世の中は問題がたくさんあつてふさげたことになってると思う。そんな中で子どもにまともな生きろつて言っばつが無理なんだよ。だから「希望の道標」ってことも「回せない」だめ。その「希望も」「道標」なんてものは社会にはなくて、それぞれの個人の意識の中になんかあるんだよ。俺は生まれてからこれまで「五味太郎」をやつとやってきたし、これからも死ぬまで五味太郎をやつていく。いろいろ模索しながら生きていく。そこには希望はあると思つよ。